

第52回

滋賀県消防研究会

当消防本部の発表作品が優秀賞

県下各消防本部（局）から消防機器の改良・開発の部、
消防に関する論文の部 13 作品が発表

令和7年7月10日（木） 滋賀県消防学校にて、滋賀県消防長会主催の消防研究会が開催され、「消防機器の改良及び開発並びに消防に関する論文」で当消防本部の消防司令補 田中浩治・消防士長 村田邦彦が考案した「伸縮自在フレキシブル吸引カテーテルホルダー」が優秀賞を受賞しました。

2人が考案したのは、救急現場において傷病者の口腔内に吐物等が貯留している場合に使用する吸引器に付属するカテーテルの収納ホルダーです。

収納や取り出しのたびに時間を要し、現場滞在時間が延伸したり、救急隊員に吐物等が付着して感染リスクが高まるなど、救急活動の効率性や安全性が著しく低下していることから本機器の開発に取り組みました。

本機器は、伸縮自在でフレキシブルなオイルジョッキのノズルと配線孔キャップを組み合わせたもので、吐物等が付着したカテーテルを一時収納する専用ホルダーで感染リスクの減少や処置時間および現場滞在時間の短縮が図れ、刻々と変化する傷病者の容態にも迅速・確実・安全に対応することができます。

